

国際婦人デー

に寄せて

◆ 上市 後藤マサエ

婦人に参政権が認められ

て三十八年になるそうです。

これによって男女平等、

男女同権が実現されたので

す。

女性の校長先生、取長、

ん、あらゆる分野において

女性が認められ、進出しま

した。

けれども、男も女も本来も

つてせれた性質、性格が有

ります。互に理解し合い、

協力し合って、和やかな、

笑いのある家庭を築くこと

が、婦人の役目ではないで

しょうか。

私達大代婦人会は、お互

の世代が重層し合って、そ

れぞれ年代の特色を生かし

仲間（近隣）の連帯意識を

育つら、消費者生活の向

上、美しい郷土づくり、婦

人の地位向上にきめ細かく

取り組もうと努力していま

す。これも家族の理解や、

地域の応援あつてのおかげ

です。

現代社会の中で、生活目

標を正しく受け止め、私自

身が直接社会に参加し充二

分に生きる事が、国際婦

人デーの起源ではないでし

ょうか。

◆ 下市 熊谷真智枝

この記念日は、わたした

婦人にとつて、又これが日

本の運命を左右する極めて

重要な日でありますのに、

至つて関心が低いのが現状

では有りでしょうか。

三月八日、この日は一九

口四年（明治三十七年）二

ユーヨークの婦人労働者が

婦人参政権を要求して集會

を開いたのを記念したもの

です。

婦人参政、それは婦人が

法や、法律で認められた民

主を義の権利であります。

婦人は男子にくらべ、能

力が劣り、且家庭を守るの

が本分で、その利益は男子

によつて代表されるとの理

由から長い間婦人参政権は

認められませんでした。

国際婦人デーに当り、私

達婦人は、物価、税金、教

育、医科、老人問題などの

地域や、社会の問題に関心

を持ち、改善や発展の為に

頑張りたいものです。

卒業を迎えて

PTA副会長 木村喜子

校舎から望む大江高山、

ほろか遠くに見える三瓶山

何れも勝負眺望の中での勉

学、小規模校ならではの先

せ方の慶を一身に受けて育

つた子供達に目を見張るは

かりでございます。

いよいよ卒業の時を迎え

て、何時になつたらおし

めが外れるのかしらと思ひ

悩んだ頃、又初めて学校に

通う喜びを味つた頃がとて

も懐しく回想されます。

卒業して行く十五名の中

赤の子が七名もおります。

当然学校から手が切れる保

護者が七名いらつしやると

云うことですが、私もその

中の一人として感激一入の

ものがございます。

子供に対する感激もさる

こと乍ら、七年間のお世話

をさせて頂いたPTAのお

仕事から卒業と云う私自身

実に万感、悲喜こもももと

云つたところでございます。

学校生活が身に付けた多

くの事から、数々の思い出

を胸に、今のこの素直さ、

明るさを失わず、よき人生

を創り出して行つて欲しい

と思います。

◆卒業を迎えて

本御堂田佑子

九年前、大阪から帰って大代小学校へ入学した頃は、僕田舎語が分れへんしと泣きべそをかいていた我が子が、もう父親より大きくなり、親として、嬉しい気持ちと「私も年をとったなあ」という複雑な気持ちが同居しています。

身体こそ大きいけれど、考え事はまだまだ子供。今までの毛々、な話し合いましたので、私達両親の気持ちには、良くわかっていますと信じています。

「これから先も何かと相談して下さいね。望むことは多くせん有りますが、悪い道に進まず、さわやかな青年になつてね。」

「今迄は元気だったから大丈夫だと思ふけれど、健康に注意して頑張つて下さい」

親は離れていても常に心配しています。

我が子達よ、ガンバレ!

卒業

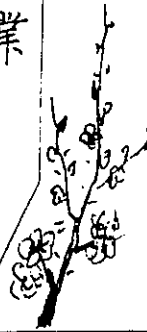
大代中笠井知博

人生の分岐点」と云う言葉を知りた事があります。中学校を卒業するということ、人生の上での分岐点とは、人生の上での分岐点に出合うための第一歩の旅立ちのようには思います。

「井戸の中の蛙、大海を知らず。」

僕達はこの蛙のようなもので、別世界である大海を知つていないと思います。だから不安もあります、小さな世界で、うぬぼれなだけで、大代中学の卒業生として、大きくはばたいで行こうと思います。

大代中 斉藤利佳



義務教育の九ヶ年間を終えようとしている今、私はある一つの目標を立てました。自分が正しいと思つたことは、最後までやり通すということとです。

今迄、自分を振返つて見て、自分にはそれが一番欠けていると思つたからです。これから町外の学校に出で行くわけですが、大代の暖い人情を、いつ迄も忘れず目標を少しづつでも実行して行きます。

「ここまで育てて下さった地域の方々や、父母に感謝しています。有難うございました。」



ひな祭りについて

四日市 荒本貴和子

千元に有る百科辞典で調べて見ると雛祭りは三月三日

明治以後は雛人形の商品化とあいまつて、全国的に広まったものと思われ、このあたりでは一月遅れの四月三日が節句で雛祭りをしました。

浄土寺には、内裏雛が飾り、それを緋毛せんの上飾り、その廻りにカラクタ人形を飾つて祝つてもらいました。

重箱に寿司や、馳走を詰め、めでたらしい、友達と一しよ

明治以後は雛人形の商品化とあいまつて、全国的に広まったものと思われ、このあたりでは一月遅れの四月三日が節句で雛祭りをしました。

浄土寺には、内裏雛が飾り、それを緋毛せんの上飾り、その廻りにカラクタ人形を飾つて祝つてもらいました。

重箱に寿司や、馳走を詰め、めでたらしい、友達と一しよ

日の節句行事、菱餅や、桃の花を供え、白酒で祝う女の子中心の行事です。

意外にこの風習の行事は、史が新しく、宮廷行事が、一六二九年、幕府行事が、一六四四年が初鬼とされていきます。

明治以後は雛人形の商品化とあいまつて、全国的に広まったものと思われ、このあたりでは一月遅れの四月三日が節句で雛祭りをしました。

浄土寺には、内裏雛が飾り、それを緋毛せんの上飾り、その廻りにカラクタ人形を飾つて祝つてもらいました。

重箱に寿司や、馳走を詰め、めでたらしい、友達と一しよ

明治以後は雛人形の商品化とあいまつて、全国的に広まったものと思われ、このあたりでは一月遅れの四月三日が節句で雛祭りをしました。

浄土寺には、内裏雛が飾り、それを緋毛せんの上飾り、その廻りにカラクタ人形を飾つて祝つてもらいました。

重箱に寿司や、馳走を詰め、めでたらしい、友達と一しよ

めでたらしい、友達と一しよ

めでたらしい、友達と一しよ

めでたらしい、友達と一しよ

めでたらしい、友達と一しよ

めでたらしい、友達と一しよ

めでたらしい、友達と一しよ

めでたらしい、友達と一しよ

めでたらしい、友達と一しよ

めでたらしい、友達と一しよ

に林蔵寺墓地で、ゴザも敷

いて大騒ぎしたものです。

都会のデパートでは、高価

な雛人形が売られています。

私の子供には、内裏様た

けの人形を、床の間に飾り

挑の花を買って求め供えてや

りました。

高価な雛人形もよいでし

ようが、質素な人形も亦、

子供の情操を育て、呉れま

す。

日本の美しい伝統行事で

ある雛祭りも、子供の為

心から祝ってやりたいもの

と思っております。

◆PTA研修会を終つて

中、PTA会長坂本武人

年中行事の、幼小中、合

同研修も既に十九回を教え

去る二月十三日終了した。

会員が互に意見を述べ合

う中で、子供の教育につき

多くの反省と学ぶ所として

本當に意義深いものと思

います。

会を寛める毎に、活発な

意見が出ており、子供を見

つめる姿勢も変わり、関心の

深さも伺えました。

言葉は生きてゐる、心

の脈である。先生のお話

しを思い浮べております。

正しい言葉によつて、信

頼と、尊敬する心も生れる。

やる気の子供も小さい時か

らの習慣づけの大切さと云

う事も知る事が出来ました。

子供への信頼と期待は、

父兄としてとかく過保護に

なう勝ちで、自分の子に限

つてしと云う事のない様、

子供をよく知る事の大切な

時代が来ており、特に家庭

内の対話を定ねる様、心掛

けたいものです。

公民館俳句

自由投稿

集りて 花田幹子

季を指折りぬ梅さくら

帰りゆく 花田幹子

桜芽ぶきぬ 坂道を

雪どけに 松井トゲノ

今年もまだか 梅の花

喜々として 松井トゲノ

桜の庭に ランドセル

鶯や 竹間初美

誘われ来たたり 梅の香に

雪舞いて 竹間初美

梅の蕾も 首すくめ

節分に 山崎久子

雪道踏んで 宮まいり

露のと お 山崎久子

雪の下から 春を告ぐ

病む兄を 竹間勝菜

着たる窓辺に 乱舞雪

駈け廻る 竹間勝菜

犬にドサリと 春の雪

老梅の 長谷マサ子

蕾まばらに 春近し

春雷に 長谷マサ子

冬の名残やばたん雪

春一番 森信子

吹きて笑みする尾根地蔵

星明り 森信子

いづこに行くや今朝の雪

べたれ雪 林ツマ子

木の枝見つめ 冬景色

岩松の 林ツマ子

根のほろろを見て 強さ知る

暖冬に 中垣哉子

季を間違えし 梅の花

病む友の 後藤マサ子

痛みを告げて 別れ雪

山里に 後藤マサ子

我が足のほし今朝の春

紫の 松井 幸

匂い伝えて 春一番

宿ありや 松井 幸

梢の吹雪 鳥寒く

神の森 渡 竜之

昔光る松 寒鴉

活けありし 渡 竜之

梅ほこらうびて今朝の雪

淡雪の 谷京夜子

舞いて古里暮れにけり

晴またず 谷口茂子

ほころびし梅や 昼の月

雪降りぬ 山根ケエノ

今年の寒の 珍しさ

紅梅の 山根ケエノ

黒くならたる こゝ寒さ

雪とけて 高村トキヨ

つりにそしむ息子達

のらしごと 高村トキヨ

桜の下で 春の酒は

寒き日を 高村三太郎

しのいで待ちや 梅の花

梅は咲く 高村三太郎

寒さは残る 冬景色

残雪や 高村正

清水流るる 山の河

雪降りて 高村正

つれと願う 柳か子かな

かん高き 高村幸

子に起されし 雪の朝

遠来の 高村幸

客声はずみ 今朝の雪

雪の朝 高村幸

手足冷えよ 顔張ろう

孫うれし 高村幸

故郷の伝説 (其の三) 新屋さん

山本清助

その後、人々が登山の途中、この大滝の流れのそばの道を通うて、その馬の足の爪跡を見ていると思ひます。この大人の偉大なる達人であつたことを知るのに参考となります。

い人でしたから、伊勢の大神を敬まい、おぼんでおいました。この度、祈願したいことは勝手なことですが、夫婦の願ひ事をお聞き届け下さいますと頼みました。

四十五才の時、敬神の念いよいよ厚く、伊勢大神宮の御分霊を頂いてお祭りしたいと思ひ、急いで伊勢に行き、手続きをして、遂に許しを得て御分霊のお供をして帰国しました。(以下次号へ)

あとかぎ、

公民館俳句

今回は初めての方の投稿ですから、そのつもりでお願いします

あすなろ会員さんの互選、と選評を予定しています。結果は速にお伝え致します。

3月27日(日)9時からバレーボール大会を開催します(休校)

9人制です

町民体育大会の各別対抗練習日は 毎週(月・水)

夜8時から 体育館で